

【概要】

2019年度フラット35利用者調査

I 調査の概要

フラット35(買取型)又はフラット35(保証型)を利用された方の属性、住宅の概要等に関して、2019年4月から2020年3月までに機構が買取り又は保険付保の承認を行った案件(借換えに係るものを除く。)のうち83,513件(2018年度:77,680件)について集計。

本調査は、フラット35(買取型)が創設された2003年10月の翌年度である2004年度から開始しています。

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 建売住宅の割合が調査開始以来最多に<p.2>

フラット35利用者の取得住宅の内訳は、建売住宅の割合が3年連続で増加し、2004年度の調査開始以来最も多くなった(24.1%)。

2 所要資金の上昇傾向が継続<p.9>

全ての融資区分(建て方別)において、所要資金^{*}が上昇している。

※注文住宅については予定建設費と土地取得費を合計した金額、新築住宅及び中古住宅の購入については購入価額を指す。

3 年収倍率は、横這い又は緩やかに上昇<p.13>

前年度比横這いで推移する注文住宅及び建売住宅を除き、年収倍率^{*}は緩やかな上昇が続いている。

※所要資金を世帯年収(申込ご本人及び収入合算者の年間収入の合計)で除した数値